



Tabula rasa

タ ブ ラ ラ サ



冬
季
号

(図書館学生新聞)

吹く風も毎日に冷たくなり、冬の訪れを身に沁みて感じる今日この頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今回も多くの方々のご協力により、無事発行に漕ぎ着けましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、今回は、クリスマス特集として図書館サポーターお薦めのクリスマスに関する本を御紹介することとなりました。これを通して皆様がより良いクリスマスを迎えるお手伝いをさせていただくと共に、皆様と図書館の出会いのきっかけとして頂ければ幸いです。

(日本文学科 3年 井地彩子)

図書館学生新聞の名前「白紙 (タブラ・ラサ)」の

意味を知っていますか？

- ◇「社会契約説」でも有名なジョン・ロック(John Locke 1632~1704)の思想。
- ◇生まれたとき、人の心はみな「白紙」である。そこに、経験によって様々な観念が書き込まれる。
- ◇経験から、心は理知的推理と知識の全ての材料を我が物とする。
- ◇ここで言う「経験」とは、「感覚による外からの印象、そしてそれに対する反省」

「白紙」という考え方は、読書に対する姿勢を連想させます。

読書に限らず何かの情報を得ようとするときの状態は、とても似ているように感じるのです。

私達はどんなことであれ、何かを知れば必ず何かを思います。何かを思い、そしてそれは何度も繰り返されます。情報と思考と印象で、自分を塗り替え塗り替え、重ねていきます。

いくつになっても心の白紙は必ずどこかにあるものかもしれませんが、出来ることならばこの図書館が、より多くの白紙を塗り替えことのできる場になればと思います。

日本文学科 1年 山本美紗緒

梅光学院大学図書館学生新聞『Tabula rasa』3号

発行日：2006年12月14日 (木)

編集・発行：梅光学院大学図書館サポーター
図書館長代行 北川透





11月の新着&貸出ランキング



* 新着図書 *

(2006年8月～11月末日)

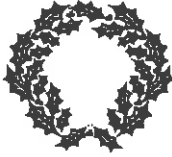
- ・『死んで私が体験したこと』
ベティ・イーディー 著 鈴木秀子 訳
同朋舎出版 1995年
- ・『漢方の知恵』
藤原勉 著 文芸社 2006年
- ・『バッテリー』(角川文庫)
あさのあつこ 著 角川書店 2003年
- ・『オレ様化する子どもたち』(中公新書ラクレ)
諏訪哲二 著 中央公論新社 2005年
- ・『祖先の物語』
リチャード・ドーキンス 著 垂水雄二 訳
小学館 2006年
- ・『まほろ駅前多田便利軒』
三浦しをん 著 文藝春秋 2006年
- ・『インカ皇統記』(岩波文庫)
インカ・ガルシラーソ・デ・ラ・ペーガ 著
牛島信明 訳 岩波書店 2006年
- ・『貝と羊の中国人』
加藤徹 著 新潮社 2006年
- ・『新版 指輪物語』
J・R・R・トールキン 著
瀬田貞二・田中明子 訳 評論社 1992年
- ・『カトリーヌちゃんのサイコロ』
関阪千里 著 ソシオンジュニア研究書 監修
北大路書房 2006年

* 貸出ランキング図書 *

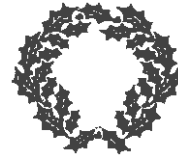
(上位10冊)

1. 『天使の卵(エンジェルス・エッグ)』
(集英社文庫)
村山由佳 著 集英社 1996年
2. 『邪宗門・杜子春』(新潮文庫)
芥川龍之介 著 新潮社 1960年
2. 『教室をいきいきと』1・2・3
大村はま 著 筑摩書房 1986～1987年
2. 『竹取物語』
佐藤昭 編 学習研究社 1988年
2. 『煩惱を断つ(不動尊)』
村岡 空 校成出版社 1979年
2. 『日本語テスト問題集』読解編 文字・語彙編
日本語能力試験研究会執筆 ほんごの凡人社
1985～1988年
2. 『夏と花火と私の死体』(集英社文庫)
乙一 著 集英社 2000年
2. 『バッテリー』(角川文庫)
あさのあつこ 著 角川書店 2003年
2. 『妖怪アパートの幽雅な日常』
香月日輪 著 講談社 2003年
2. 『劫尽童女：長編小説』(光文社文庫)
恩田陸 著 光文社 2005年

(2006年11月末現在 梅光学院大学図書館OPAC調べ)



オススメ本 part.1



『カナディアンサマー・KYOKO』

村田李衣 著 内澤旬子 絵 理論社 1994年

私は小学生の時からこの本が好きです。KYOKOの強さにとても憧れます。
カナダの美しい自然や外国生活の厳しさなど。沢山の事を考えるヒントをくれる本です。
(日本文学科 1年 原生子)

『日本神話事典』

青木周平 [ほか] 編 大和書房 1997年

様々の事典、参考図書のなかの貸出可能な稀有な一冊。事典を読むのが好き、という方も日本神話に片脚つつこんでみようかな、という方も手にとってみてください。

^{もしはものなかつに}葦原中国、イザナミ・イザナギなど古事記、日本書紀ではありふれた解説から、英雄という意外なことばまで載っています。

人名の見出しは片仮名ですが、出典の表記は漢字でしているのも特長の一つ。
ランダムに読むもよし、最初から読むもよし。あなたもいかがですか？

(日本文学科 3年 山川由紀子)

『中国妖怪伝—怪しきものたちの系譜—』 (平凡社新書)

二階堂善弘 著 平凡社 2003年

中国の妖怪は私達が思っている以上にたくさんいます。ですが、これはポピュラーな『西遊記』『封神演義』の中に登場するキャラクターや、古代に記された『山海経』の怪物、その他諸々の妖怪についておもしろおかしく、かつそこまで知らない人でも読みやすく書かれた本です。

また、所々で図や写真など目でも楽しめる部分もあるので、“妖怪モノ”に興味を持っている人にはぜひ手に取ってもらいたいものです。

これを読んで、中国文化の奥深さを少しでも味わったような気分になってももらえたらいいと思います。

(日本文学科 3年 林聖子)

クリスマス特集

クリスマスが近づいてきました。あなたは今年のクリスマス、どのように過ごしますか？友達や恋人、家族と一緒に本を読んでみては？今回は、クリスマスに関連した本をご紹介します！

『クリスマス・クッキング』
齊藤和子 著
日本基督教団出版局 1997年

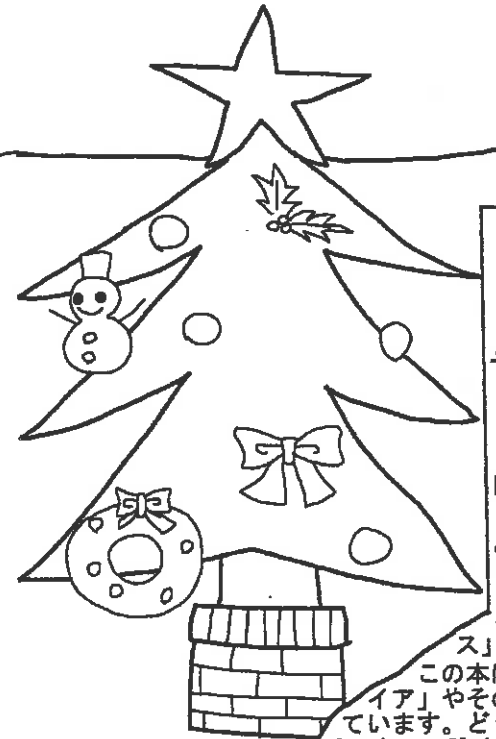
この本には、クリスマスに
おいしいものを食べることが
好きな人、クリスマスにおい
しいものを作りたい人のため
に、色々な国のクリスマス料
理の作り方を紹介してありま
す。カラーの扉写真が、どれ
も本当においしそうです。
また、世界のクリスマスに
ついての記事が所々にあり、
今まで知らなかったクリスマスに
関する知識も得られるかもしれませ
ん。

日本文学科 1年 馬場沙緒里

『クリスマスから始める
フラワーアレンジメント』
本多洋子 著
日本キリスト教団出版局 2004年

梅光の図書館にこのような本が
あったことをご存知ですか？
かく言う、私も今回はじめて知っ
たのですが、クリスマスから、とい
う題名通りクリスマスのみというわ
けではありません。
小さなツリーからリース、コサー
ジュまで様々な花々が待っているか
も。

日本文学科 3年 山川由紀子



『メサイアと
クリスマスのうた
メトロポリタン
美術館版』
デイヴィッド・
ウィルコックス
編集・編曲

日本基督教団出版局 1988年
皆さんクリスマス礼拝のため
に「ハレルヤ・コーラス」
を練習していますね。よくよ
く楽譜を見てみると、「メサ
イアより ハレルヤ・コーラ
ス」と書いてありませんか？

この本にはハレルヤを含めた「メサ
イア」やその他のクリスマスの歌が載っ
ています。どうぞ興味が湧いたならば、
手にとって眺めてみるのも良いでしょ
う。

日本文学科 3年 柳良千尋

『さむがりやのサンタ』
レイモンド・
ブリッグズ
著・画
福音館書店 1974年

やっぱりクリスマスの主役
はサンタクロースでしょう!!
この本ではクリスマスイブから、
クリスマスまでの1日の
サンタクロースの行動を描い
ています。

サンタクロースはとてさむ
がり。仕事の季節である冬に外へ
出ることを嫌がります。でもそこはサ
ンタクロース。子どもたちにプレゼントを
くばるため、寒い中仕事をします。
ちょっと頑固でわがままなサンタクロ
ースの1日と一緒にみてみませんか？

日本文学科 3年 平尾知子

『クリスマスの贈り物
家庭のための詩とお話の本』
バルバラ・バルトス＝
ヘップナー 編
新教出版社 1982年

クリスマスといつてまず連想する
のは、サンタクロース、もみの木、
雪、プレゼント、リース、そしてお
いしそうなおもち。この本にはそ
んなクリスマスのごちそうやお菓
子のことがたくさん書かれています。
お菓子やごちそうが大好きな人にお
すすめです！

多くの作家が書いたクリスマスの
短編や詩なので、とても読みやすく、
楽しい気分になれます。中でも
一番のオススメのお話は、この本を
編集したバルバラ・バルトス＝ヘ
ップナーの「十二人の異国人たち」で
すごく暖かい気持ちになれます。

日本文学科 1年 横山尚枝

『図説天使百科事典』
ローズマリ・エレン・
グイリー 著
大出健 訳
原書房 2006年

私が紹介するクリスマスの本は
一風変わって『天使百科事典』で
す。文字通り、古今東西の天使に
まつわる情報が図入りで分かりや
すく掲載されています。

天使について知りたい、他の本
を読んで天使について興味を持ち
じっくり読みたい方などは、ぜひ
一度手にとってみてください。暇
だから何かないかなという方も、
軽い気持ちで読んでみて下さい。
何かしらの新しい発見がありますよ。

最後に、この本は参考書なので
貸出しはできません。あしからず。

日本文学科 1年 西山友梨

『サンタクロースと
小人たち』
マウリ・クンナス 著
稲垣美晴 訳
偕成社 1984年

フィンランドの北。そこか
ら外れた山にとてふしぎな
村があります。そこにはサン
タクロースと何人もの小人が
トナカイに囲まれて暮らして
いるのです。小人たちとサン
タはそこで、勉強したり、プ
レゼントを作ったりとてもに
ぎやかで楽しい毎日を送って
います。

そしてクリスマスの当日…
サンタクロースと小人たちの
とっても忙しい、でも素敵な
一日。クリスマスが来るのが
待ち遠しい人にオススメの一
冊です。

日本文学科 1年 今井美里

『ターシャ・テューダー
のクリスマス』
ハリー・デイヴィス 著
ジェイ・ポール 写真
相原真理子 訳
文藝春秋 2000年

手作りの家と庭で、絵本を描
きながら愛犬と暮らす。冬は暖
炉の前で、一人用の腰掛けに座
りロウソクをともしてリースを
作る。パンダナを巻いて美味し
いジンジャーブレッドを焼く。
外には真っ白い雪が降る。

一体この物語の世界かと思
いきや、ターシャは実在。こん
んなクリスマスがあるのか！と惚
れ惚れをするほど、写真一枚一
枚の情景は絵になります。招か
れたい！

日本文学科 1年 山本美紗緒

『チビねずくんの
クリスマス』
ダイアナ・ヘンドリー 著
ジェーン・チャップマン 画
ポプラ社 2005年

『チビねずくん』絵本シリーズの
一つ。クリスマスイブ、チビねずく
んとオオねずくんは、クリスマスの
準備に大忙しです。しかし、ヒイラ
ギの実を探りにいったチビねずくん
の前には次々と怖い怪物が現れて?!
挿絵もカラフルで愛らしく、温か
みを感じます。チビねずくんもオオ
ねずくんも、とてもかわいく描かれ
ています。

日本文学科 1年 馬場沙緒里

『リサとガスパールの
クリスマス』
アン・グットマン 著
ゲオルグ・
ハレンスレーベン 画
ブロンズ新社 2000年

とてもページの少ない絵本です
が、「クリスマス」を見事に描い
ている作品。内容は、リサとガス
パールが学校の先生にプレゼント
をあげる話、というもので時
間がある時にパッとページをめく
り、プレゼントを贈る楽しさを感じ
てほしいです。

日本文学科 3年 林聖子

『列仙伝・神仙伝』

劉向・葛洪 著 沢田瑞穂 訳 平凡社 1993年

中国の、仙人と呼ばれた者が多くまとめられたものです。

何十年、何百年と生きているというのに顔色は若いまま変わらない。天と地と共に生を続ける彼らは、若い、死んでゆく人間達にとっての羨望の対象でした。

ひとつに括れがちな仙人にも、実は天仙や地仙といった種類があり、その違いも書かれています。注釈により理解不能な、謎の単語に思えるものの意味も分かり、読みやすいものでしょう。

不老長生・不老不死、神仙に興味のある方は手にとってみるのも一興です。

(日本文学科 3年 椰良千尋)

『スキ…』

ミンヌ 著 ナタリー・フォルチェ 絵 森絵都 訳 くもん出版 2005年

今はもう感じないかもしれないけど、昔は感じたことのあるスキ。

「横断歩道を渡るとき、白いしまの上だけを踏んで、はみ出さないように歩くのが好き」

「くるくる回るとスカートがふわっとするのが好き」

「新しいノートの最初のページに自分の名前を書くのが好き」

こんな日常生活に埋もれているたくさんの好き。思わず「あ、自分もあつた！」と言いたくなってしまふ、そんな一冊。あなたの好きは何ですか？

(日本文学科 3年 平尾知子)

『作家のペンネーム辞典』

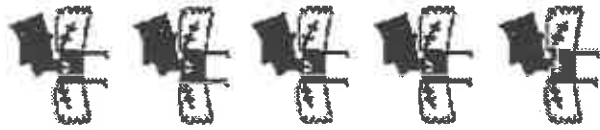
佐川章 著 創拓社 1990年

森鴎外には74のペンネームがあった?! 正岡子規というペンネームは突然の嗜血が由来?!

作家、詩人、歌人、俳人、評論家など、広く文芸全般の領域で活躍している、235人のペンネームについて、詳しく書かれている本です。あなたの好きな作家さん達のペンネームの由来、調べてみたらきっと面白い発見ができるはず。作家さん達に直接興味の無い人も、「名付け」という、行為としての観点から見ると、意外と面白いかもですよ? この本は、図書館1階の奥の方であなたが手にとってくれるのを待っていますよ♪

(日本文学科 3年 井地彩子)

先生方のオススメ本



『The adventures of Huckleberry Finn』

Mark Twain Person Education . 2000 年

I love to read, so it's hard to pick a favorite, but I choose Huckleberry Finn by Mark Twain. It's a great story of adventure and friendship and doing the right thing. And it's funny! The original English is a little difficult, but there are simple versions.

Frank Bailey, English Literature Department

『クレーの天使』

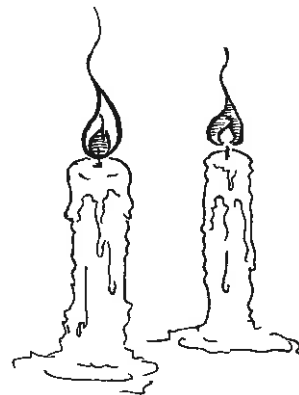
谷川俊太郎 著 パウル・クレー 絵 講談社 2000 年

パウル・クレーの天使を主題にした 40 点の絵に、谷川俊太郎が 14 篇のひらがなの詩を添えている。だから、天使は<てんし>である。隣にいる友達や愛する人のような、幼い子供や忘れっぽい少女のような、そんな<てんし>がうたわれている。泣いたり、石になったり、傷つけられたりする<てんし>、羽が抜け落ち、優しさを使い果たし、眼だけを見開いて、死にかけている<てんし>もいる。クレーの絵と谷川さんの詩が、美しいだけでなく、悲しくも優しいデュエットを奏でている。一度読んだら、何度も読みたくなる詩画集だ。

北川透



忘れっぽい天使
Forgetting Angel 1939—20



図書館からのお知らせ

「中原中也賞◆受賞詩集展」終了

7月8日(土)～9月30日(土)の約2ヶ月間で、総入場者数546名でした。
朝日新聞、読売新聞にも掲載され、地域にも図書館の情報を発信するよい機会となりました。
また、多くの学生が足を止め、現代詩を読む姿が見られました。

最終日の9月30日(土)には、特別企画「現代詩の英訳コンクール」の授賞式を行いました。

【中学生・高校生の部】	最優秀英訳詩賞・学長賞	江崎涼子さん(梅光女学院高校3年)
	優秀英訳詩賞	大木真菜美さん(長府高校3年)
【大学生・社会人の部】	最優秀英訳詩賞・学院長賞	田口英嗣さん(本学英米文学科3年)
	優秀英訳詩賞	佐藤直彦さん(熊本県在住)
	優秀英訳詩賞	前田瑛梨奈さん(本学英米文学科4年)

展示を見学していただいた皆様ありがとうございました。
展示目録が少し残っています。欲しい方はカウンターまでおたずねください。



冬休みの利用について

＜冬休み貸出しのお知らせ＞

期間：2006年12月15日(金)～2007年1月6日(土)

最終返却日：2007年1月16日(火)

冊数：学部生 5冊まで

大学院生 10冊まで

☆期間中ず～っと借りていてもいいですし、

制限冊数内で入れ替えてもいいです。

＜冬休み開館日のお知らせ＞

開館日：2006年12月25日(月)～27日(水)

2007年1月5日(金)～6日(土)

開館時間：9:30～17:00(貸出・返却は16:50まで)

休館日：12月28日(木)～2007年1月4日(木)

日曜日、祝祭日

詳しくは図書館掲示板および学院HPをご覧ください。

<http://www.baiko.ac.jp>

